われら地産地消応援団

糸島市では、市長を応援団長、市内飲食店や食品加工業者、宿泊施設、農産物直売所などを応援団員とした『地産地消応援団』を発足させ、地産地消の推進を図っています。

さぁ、あなたの周りに、地産地消応援旗を掲げている店舗を探してみてください。

地産地消応援団員は、随時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

寄り合い処にきんしゃい

虹の会

毎週火曜日、前原商店街寄り合い処で、糸島産にこだわった米や季節ごとの旬の野菜を販売しています。

●店長から「ひとこと」

地元の農家のみなさんが、田畑で愛情をいっぱい注いで育てた、安全で安心なとれたて野菜ばかりです。

ぜひ一度、足をお運びください。

●お問い合わせ

所在地 糸島市前原中央三丁目6番46号

営業時間 毎週火曜日12時から18時まで（10月から3月は、17時まで）

三幸

一度食べると、やみつきに

米は、100％地元糸島産のものを使用しています。もちろん、野菜なども極力地元の物を使用しています。

●店長から「ひとこと」

三幸のお薦めメニュー。豚骨からとった、濃厚なスープで作る「チャンポン」と「皿チャンポン」です。

一度食べると、やみつきになります。一度ご賞味ください。

●お問い合わせ

所在地 糸島市前原北一丁目1番2号

営業時間 11時から14時まで（ご予約により夕方の宴会可）

☎(322)0347

問い合わせ
糸島市農業振興課
☎(332)2087

アブラナ科植物 キャベツ、ブロッコリーなど

根こぶ病に注意

糸島は、キャベツやブロッコリー、菜の花など県内でも有数の産地。これらの野菜はすべてアブラナ科の植物です。今、これらの野菜に甚大な被害を及ぼす「根こぶ病」が発生し、その被害の拡大がとても心配されています。

「根こぶ病」拡大を防ぐため、農家はもちろん、家庭菜園をしている人も協力してください。

●発生の防止

①土壌を石灰資材などで中性にする
②土壌養分のバランスを良くする
③排水対策を講じる

●発生した場合の処理

①被害株を抜いて、焼却
②農機具の使用後は、畑内で土を落とし、洗浄
③病気が発生したほ場を、苗床として絶対使用しない
④おとり作物を作付けする
⑤登録農薬の有効利用
⑥アブラナ科以外の作付け

■根こぶ病の特徴

根こぶ病は、アブラナ科の植物に感染し、根に大小のこぶができ、生育不良で枯れることもあります。

病原菌は土中にいて、土や水とともに移動します。土の中で10年近く生きるといわれます。

正常な株（左）と根こぶ病の株（右）

問い合わせ
JA糸島園芸振興課
☎(327)0436
福岡普及指導センター
野菜花き課
☎(806)3400

会期中は休館日なし

平成22年度福岡県立美術館所蔵品巡回展

志摩歴史資料館で開催

移動美術館展③

～糸島アートクルーズ～

入場料 210円（団体160円）、高校生以下と65歳以上は無料

会期 9月18日（土）から10月11日（月・祝）まで

時間 10時から17時（入館は16時30分）まで

楽しいイベントがいっぱい

会期中のイベント		日　時	人数・料金
ワークショップ	アートペイントシップに乗って！（対象：5歳以上）	9/25（土）10時～12時	30人 300円
	アーティスト気分でお絵かきざんまい！（対象：小学生）	10/2（土）10時～12時	15人 300円（予約は文化課）
2010アクロスレインボーコンサートin糸島【和・洋楽器カルテット】		9/25（土）14時から	約100人 無料
ギャラリートーク		9/18（土）・10/2（土）14時から	無料（入場料は必要）
糸島市中学校美術部作品展		9/18（土）～10/11（月・祝）10時～17時 ※9/25（土）はコンサートのためお休み。	無料

児島善三郎、髙島野十郎、野見山暁治、松永冠山など、県内出身の芸術家の作品を中心に、県立美術館が長年集めてきた美術品を展示する「移動美術館展」。何が描かれているかな、どんな形に見えるかな、不思議な発見がいっぱいです。

展示予定作品紹介

坂本繁二郎（1882～1969）は久留米市出身。久留米高等小学校で図画教員だった森三美に洋画の基礎を学びました。

幼なじみの青木繁が東京から帰省した折、触発されて上京。画塾不同舎、続いて太平洋画会研究所で学びました。

1910・11年と文展で連続受賞。1921年に渡仏。1924年に帰国後は久留米市に居住し、のちに八女郡へ転居。戦後は無所属のまま終生この地で幽玄質実な絵画を追究。

日本芸術院会員へ推挙されても制作に支障を来すという理由から辞退し、超俗的な制作姿勢で一生を貫きました。

繁二郎が生涯取り組んだテーマが馬。馬について繁二郎は「九州の明るい季節に富んだ自然、のびやかな風土に、馬の躍動する姿態がぴったりして、私は、もう馬に取りつかれてしまったのです。」と語りました。本作も85歳という最晩年に描かれた秀作です。

坂本繁二郎「放牧場」1967年（福岡県立美術館所蔵）

申し込み・問い合わせ
糸島市文化課
☎(332)2093 FAX(327)2707

枝豆収穫＆交流会

参加者募集

枝豆狩りに茹で枝豆、枝豆料理の試食など、全部体験できる交流会を「二丈女性農業者協議会ひまわり」が企画しました。

日時 10月2日（土）13時30分から15時まで
※受付開始は13時から。

場所 二丈松末の畑

定員 50人

申込方法 電話やFAXで、氏名と住所、電話番号、参加人数をお知らせください。
※当日は「ひも（1本500円）」を購入し、その「ひも」で縛れるだけの枝豆を収穫していただきます。

申込締切 9月24日（金）

どしどしご参加ください

申し込み・問い合わせ
糸島市農業振興課
☎(332)2087